

栃木県議会議員

平木ちさこ 活動レポート

元気ネット

発行
平木ちさこ
事務所
〒321-1274 栃木県日光市土沢1962
TEL 0288-26-6739
FAX 0288-26-6759
Eメール hiraki-chisako@nifty.com

ホームページ <http://hirakichisako.com> (奇数月末日更新)

8月10日から土日に、東武下今市駅～鬼怒川温泉駅間をSL大樹が運行することになったが、この度、下今市機関区の開設に伴い「大樹」と転車台が披露された。

新型特急「リバティ」も走り始め、一生懸命お客さんを運んでくれている東武鉄道。JR東日本も、デスティネーションキャンペーンと称して、国内津々浦々のJR駅に栃木県に行こう！のポスターを張り巡らし、誘客キャンペーンを今年から3年間にわたり繰り広げてくれている。つくづく民間資本力の大きさに驚き、有り難いと思う。

すでに受け入れ体制も進みつつあり、日光・鬼怒川への観光客はこの春、数割増しになっている。

*

一方で、食事は外で済ませたり、コンビニの食糧を持ち込む素泊まり客も増え、賄いさんが暇になったという宿もある。観光バス会社は運賃の値上がりに伴い、値段はどうしよ



うもないけれど、その分ガイドさんは付かなくてよいという旅行会社や団体があり、ガイドさんが暇になったりしている。タクシー会社では、外国人客はいっぱい来ているけど彼らはとにかく良く歩き、いろは坂まで歩いて登って行ってしまふ、と苦笑する。

お客さんが増えても必ずしもその分だけ売上げが比例しているとは言えない、との声もある。

自然も歴史も温泉も食もある栃木県。来年4月から6月はデスティネーションキャンペーンの本番の年。今年よりさらに客足は伸びるだろうが、果たしてその効果はどう出るか……

*

先日、遠方から来た友人は二社一寺の素晴らしさに何度来ても見応えがある、と唸った。

いちご狩り、鮎、足利フラワーパーク、佐野ラーメンと、事前にガイドブックで調べて来て、忙しい私に構わず器用に楽しんで帰った。次は県内もっと足を伸ばしたい！と。

次は家族や友人も誘って是非！

明日は我が身！

～地域で生きる認知症高齢者～

先日、生協の方々からこんな困りごとを聞いた。認知症の一人暮らしの方が増える中、同じ商品を大量に注文して、冷蔵庫や部屋の中がいっぱいになっている例だった。個別配送にあたる配達員さんたちは、説明をしたり、たくさんの商品を部屋に運んで冷蔵庫に納めたり、1人のお宅で30分以上かかってしまうと言う。

離れて暮らす子どもさんは1回につき8,000円までなら好きに買わせてくれというケースもある。が、だいたい生協の1回の配送では平均1家庭で5,000円弱。高齢者の一人暮らしや老夫婦で8,000円ではとても食べきれず腐らせてしまう。ヘルパーさんが入っていないケースが8割方、何とかうまい仕組みは出来ないものか、と頭を痛めている。

ある民生委員さんに尋ねてみたら、お金や商品も絡むことで、ちょっとそこまでは入り込めない、と。県の消費者担当や高齢担当の方々も交えて話し合いを持ったが、すぐには答えは出ず。

認知症の方に納得いただくのはとても根気が要るし、「好きだから買っておくの」と、ドレッシングを複数本注文されるご婦人に、どこまで分かっていただけるか。数を減らすと、

中には、頼んだのに来ない！と怒る方も。

*

私自身、足腰が弱っても生協さえ届けてくれれば大丈夫、と口癖のように言ってきたけれど、他人事ではなくなった。自分も認知症になって買いまくったならば施設に入れてくれ、と言いたいところだけど、施設入所は要介護3以上になってしまったし、そんなお金は毛頭無い。

お年寄りが買い過ぎて銀行の引き落としが不可になっても近くに食糧を買える店もサービスも無いから注文を止めるわけにはいかない、と良心的に頑張っている生協さんの姿に、県のくらし安全安心課長も、悪徳業者に引っかけたの相談がほとんどだが、良心的な業者さんからのこんな相談は珍しい！と語る。

他県の調査も含めて引き続きの協議となった。要支援者への支援が介護保険から外れ自治体任せとなった今、こんな事例は増える一方だろう。

名案のある方、HELP！



TOPIX
話題最前線

現在、鹿沼と足尾に跨がる前日光横根高原に大規模な太陽光発電の建設の構想があり、鹿沼市議会ではすでに、全会一致で反対決議をした。そして、この度、横根高原の自然を守る日光市民の会からも日光市議会と齋藤市長宛の建設中止への請願書が提出された。

事業面積107ha(1km×1.07km)、太陽光パネル167,222枚、発電容量46,564kWの規模だ。

自然破壊、絶滅危惧種の動植物への影響、森林伐採による土砂崩れや地球温暖化への危惧を訴えている。



リベラル派はなぜ嫌われるか!?

～尊厳ある生活保障「頼り合える社会」の構想～

民進党地方自治体議員フォーラムの全国研修会での井手英策慶應義塾大学教授の話がとても分かりやすかったので以下へ。

日 本の2014年の世帯収入は300万円以下が全体の34%、平均所得以下の世帯が6割強を占めた。そして20年前より2割近く収入は減っている。

日本の所得が平均以下の世帯の割合は41カ国中12位だが、「格差は大き過ぎないと思う」と答えた人の割合は41カ国中13位。冒頭の世帯収入の状況にあっても格差を認めない人が多いのが日本社会の現実だ。同時に自分の所得層を「中の下」と回答する人の割合も38カ国で日本が第1位を占めている。

*

さ て、なぜ富裕層から税を取って貧しい層に回す、と主張するリベラル派が嫌われるのか？

先日、NHKが貧困女子高校生の実態を取り上げた。それを観てテレビ局に怒りの電話が殺到した。怒ったのは年収300万円から400万円の正社員たちだった。長時間労働で頑張っただけでギリギリのところまで子育てをしている普通の人たちが怒ったのだ。

「そんなの貧困じゃない！ 私たちの生活の方が貧しい！」と。そして「なぜ自分の税金で貧しい人を助けるんだ！」とも。

取られればなし、ぼったくられ感で、租税抵抗が生まれ、低所得層へのバッシングが起きているのが今の世相だ。そうすると、貧しい人だけが受益者ではなく、みんなが受益者になるシステムが必要となる。

自己責任社会はもはや機能不全となった今、成長を前提としないモデル＝貧しい層から富裕層にまで全員にサービスを給付する、すなわち同じ金額をみんなに配って格差を縮めるやり方。

例えば、年収2,000万円の人に20%・400万円を課税する。同様に年収200万円の人にも20%・40万円を課税する。

440万円の税収のうち、一部の40万円は借金返済や財政再建等に用いる。残りの400万円を同額で200万ずつを先の2人に給付する。結果、富裕層は1800万円、貧しい層は360万円。つまり、みんなにサービスを給付すると、格差は10倍から5倍に減る。それでも富裕層は文句は言わない。自分が受けている幼稚園や保育園、学校、道路、福祉などの現物給付を考えていない人が多いが、痛みも喜びも分かち合う社会の仕組みにするべきだ。

*

デ ンマーク、ノルウェー、スウェーデン、イギリスなどは、日本より税が高くて、国民の痛税感が少ない。なぜなら払った分だけ戻ってくるからだ。これは今後の消費税の増税の際によく考慮すべきことだ。

自民党も民進党も経済成長と言うが、かつて1位だった1人当たりのGDPは、今や27位だ。これ以上の経済成長は不可能だ。

そんな中、人生にあるいくつかの不安期（子育て中や病気、老齢期）に頼り合える社会、人間の尊厳と生活を保障し、あらゆる人々が堂々と生きて行ける社会、他者を思いやることでいずれ自分も得をする社会、今、そんな社会の仕組み作りこそが大切だ。

そして、格差が小さくなれば結果的に経済も少しは良くなる。

自己責任論を捨て、「貧困者から全ての生活者へ」と視点を変える、すなわち「中の下層」の支持を得ることこそリベラル派が伸びて行く道であり、この生きづらい分断社会を終わらせる道でもある。

(参考データ・文献：ISSP2009より)



6・7月の催し

※会場はいずれも平木事務所です

元気会 毎月第1土曜日 10時～11時30分

日時▶ 6月3日(土) 7月1日(土)

●会場：元気ネット事務所（日光市土沢1962）

●内容：県政報告及び時事問題について話し合います。

※会費、申し込みは不要

女性の茶話会 毎月第1水曜日 19時～21時

日時▶ 6月7日(水) 7月5日(水)

●会場：元気ネット事務所（日光市土沢1962）

●参加費：300円（軽食付き）

●申込み：前日まで ☎ 0288-26-6739 へ

(☎090-4825-3775、またはショートメールへ)

県政について、みなさんのご意見をお寄せください。



映画「スノーデン」

監視社会が進む中、この機会に必見です！

- 上映会場：フォーラム那須塩原（那須塩原市豊浦12-1 ビバモール那須塩原内）
- 上映期間：6月24日(土)～6月30日(金)
- 問い合わせ：☎ 0287-60-7227



【内容】

アメリカ政府による個人情報監視の実態を暴いた実話。2013年、政府が秘密裏に構築した国際的監視プログラムの情報を英国のガーディアン誌に提供したのは、元CIA職員エドワード・スノーデン。国を愛する平凡な若者が、なぜ幸せな人生を捨ててまで、世界最強の情報機関に反旗を翻したのか。テロリストのみならず全世界の個人情報監視されている事実を危機感を募らせていく過程を描き出す。

※平木ちさこは、HPオフィシャルサイトまたはFBに、「今日の活動」を毎日アップしています。どうぞご覧ください。（平木ちさこで検索してください）

【Eメール】 hiraki-chisako@nifty.com

※平木ちさこの「元気ネット」ホームページは奇数月末日更新です。

※平木ちさこオフィシャルサイト <http://hirakichisako.com>

平木ちさこ 検索

